

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18530242

研究課題名（和文） 投資家行動と金融市場

研究課題名（英文） Investor Behavior and Financial Markets

研究代表者

亀坂 安紀子（KAMESAKA AKIKO）

青山学院大学・経営学部・教授

研究者番号：70276666

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学、財政学・金融論

キーワード：ファイナンス、金融論、金融市場、投資家行動、行動ファイナンス、証券市場

## 1. 研究計画の概要

経済学やファイナンスの分野では、心理学などの分野の研究成果を取り入れた研究がさかんに進められるようになってきている。本研究は、そのような背景のもとで、投資家行動などの人間行動を明らかにすることを目的としている。

具体的には、これまで研究代表者は、日本をはじめとしてアジアの様々な国の投資家の行動を分析してきた。特に、日本の投資家行動の分析では、大きな国際大会で賞を受賞した。その関連研究をさらに進めるとともに、新しい研究も行いたい。

## 2. 研究の進捗状況

平成 18 年度には、日本の投資家行動の研究を発展させた論文「外国人投資家、国内機関投資家、個人投資家の株式売買に関する月次アノマリーの分析」に対して、日本 FP 学会にて学会賞を受賞した。また、この受賞に関して、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会機関誌『Journal of Financial Planning』にインタビュー記事および論文要旨が掲載された。

同年度において、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会から原稿の依頼があり、専門論文でこれまで明らかにしてきた日本の投資家行動のパターンについて、わかりやすく解説した原稿を執筆した。この内容は、『パーソナルファイナンス研究』という図書の、ひとつの章として刊行された。

平成 19 年度には、米国イリノイ大学の教員からの紹介により、イリノイ大学がギリシャの大学とともに主催するコンファレンス SAET (The Society for the Advancement of

Economic Theory) conference にて、タイの通貨危機時の投資家行動に関する研究成果を発表した。また、同年度には、行動経済学会という新たな学会の設立準備作業に携わり、発起人、理事、第一回プログラム委員として大会の開催に寄与した。

平成 20 年度においては、中国の株式市場についての分析結果を、Asian Finance Association と日本ファイナンス学会が共同で開催した国際大会において発表した。また、行動経済学会プログラム委員として、平成 20 年度大会の開催準備を行った。日本ファイナンス学会役員として、研究代表者所属大学で開催される予定の来年度大会の開催準備を行っている。

平成 20 年度にはまた、当初は計画していなかった新たな発展的内容の研究にも着手した。Ohio State University の大垣昌夫教授とともに、人々がもつ世界観が経済行動に与える影響について、分析を開始した。具体的には、アンケート調査および経済実験を 3 度にわたって異なる被験者に対して行った。

## 3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

研究課題のなかで、当初計画していた内容の出版までの課程（論文投稿、修正、採択）が遅れてしまっている。しかしその一方で、当初は計画していなかった研究が進んだ。

## 4. 今後の研究の推進方策

これまで論文として執筆し、学会発表を行った研究のうち、また掲載雑誌が未定のものについては、できる限り早く掲載されるよう

に、レフリーに指示された点を中心として改訂したい。

研究代表者は、国際共同研究もいくつかかかえているため、共同研究者と日程調整を行った上で、詳細な打ち合わせや実際の分析作業、実験やアンケート調査を行いたいと考えている。

アンケート調査や実験が済んだ分については、集計や分析作業を進めて、今後学会等で発表したい。また、追加データの入力が必要な研究については、学生アルバイトを確保して、データ整備を行いたい。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 3 件)うち 2 件記載

Akiko Kamesaka, Xiaoyan Yu, Lu Zheng, Investor Expectations and Stock Market Movements, 日本ファイナンス学会第 14 回大会 Proceedings, 2006, pp72-80.

亀坂安紀子、「外国人投資家、国内機関投資家、個人投資家の株式売買に関する月次アノマリーの分析」、ファイナンシャル・プランニング研究、2007.

[学会発表](計 3 件)うち 2 件記載

Akiko Kamesaka, Efficiency and Day-of-the-Week Patterns in Chinese Stock Markets, Asian Finance Association / 日本ファイナンス学会合同大会, 2008 年 7 月 8 日, パシフィコ横浜会議センター

Akiko Kamesaka, The Asian Crisis and Investor Behavior in Thailand's Equity Market, 8<sup>th</sup> SAET conference, 2007 年 6 月 22 日, ギリシャ

[図書](計 1 件)

亀坂安紀子他、貝塚啓明監修、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会、『パーソナルファイナンス研究』、2006 年、全 256 ページ。

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

[その他]

雑誌論文の 亀坂安紀子、「外国人投資家、国内機関投資家、個人投資家の株式売買に関する月次アノマリーの分析」に対して、日本 FP 学会賞を受賞、2006 年 9 月 9 日日本 FP 学会にて。また、この受賞に関して、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会機関誌、『Journal of Financial Planning』にインタビュー記事および論文要旨記載、2006 年 12 月。